

# 三条市水道事業ビジョンの達成状況 (平成29年度)

# 基本方針1 安全で安定した水道水の供給

## 1 水源の確保・保全・水質管理の徹底

平成29年度の啓発活動等実施回数及び水質異常発生回数の実績は右表のとおりであり、いずれも計画を達成しました。

安全で安定した水道水の供給のために、水源の確保と保全、水質管理の徹底は重要です。今後も水道施設のパトロールや水質管理等の徹底に努めます。

区 分	平成29年度		
	計 画	実 績	計画値との差
啓発活動等実施回数(回)	2	2	0
水質異常発生回数(回)	0	0	0

## 2 水道施設の安全管理

水道施設の日常点検を確実にを行い、施設の異常把握に努めました。

# 基本方針2 災害に対する強靱化の推進

## 1 水道施設の耐震化

老朽管の更新に併せて管路の耐震化を進めました。実績は右表のとおりであり、老朽管布設替工事の繰越し等の理由により計画未達となりました。

区 分	平成29年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路の耐震化率(%)	8.5	8.3	△0.2

## 2 災害時対応の充実・強化

応急給水体制の確保については、日本水道協会新潟県支部との応援体制が確立されている中で、水道お客さまセンターとの連携を含め、市の水害対応防災訓練に併せて訓練を実施いたしました。

また、災害復旧体制の確保については、日本水道協会新潟県支部の三条エリア団体（三条市、燕市、加茂市、田上町、弥彦村、三条地域水道用水供給企業団）と資機材の保有情報を共有するなど関係機関との連携を図りました。

## 基本方針 3 健全な事業運営の持続

### 1 計画的な施設の更新

浄配水施設の長寿命化については、企業団からの受水量が増大する平成40年度以降に向けて、大崎浄水場の在り方について更に検討を進めてまいります。

管路更新延長は右表のとおりであり、老朽管布設替工事の繰越し等の理由により計画未達となりました。

区 分	平成29年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路更新延長 (km)	4.0	3.9	△0.1

### 2 収益の確保

水道事業の収入の根幹を成す水道料金の収納率は、計画値を上回り達成いたしました。今後も未納状態が増加しないよう納付意識を向上させるとともに給水停止を含めた未納対策に取り組んでまいります。

区 分	平成29年度		
	計 画	実 績	計画値との差
収納率 (%)	98.73	98.75	0.02

### 3 経営の効率化

コストの削減及び定員適正化計画の推進については、職員数、営業収支比率及び経常収支比率に関し計画を達成いたしました。これからも徹底したコスト削減を図り経営の効率化に努めます。

一方、有収率は計画を下回りました。冬季の寒波による水道管破裂をはじめとする配水管の漏水が原因と考えられますので、漏水箇所の早期発見と修繕に努め有収率の向上を図ります。

区 分	平成29年度		
	計 画	実 績	計画値との差
職員数 (人)	32	30	△2
営業収支比率 (%)	98.10	100.58	2.48
経常収支比率 (%)	100.16	102.88	2.72
有収率 (%)	90.19	87.56	△2.63

## 基本方針 3 健全な事業運営の持続

### 4 事業運営体制の強化

水道水の安全性等、高度化・多様化するお客様ニーズに対応するため、水道施設管理や設計に係る技術等の研修に参加いたしました。

区 分	平成29年度		
	計 画	実 績	計画値との差
外部研修参加人数（人）	6	6	±0

## 投資計画と財政収支計画の達成状況 ①投資計画

### 投資計画

平成29年度は、籠場取水場機器更新工事、配水管布設工事、配水管布設替工事、消火栓設置工事等を実施し、当初計画していた事業を概ね実施できました。なお、配水管布設替工事費については、関連工事の工期延長などにより199,258千円を翌年度に繰り越しました。

(千円)

区 分	平成29年度			
	計 画	実 績	計画値との差	
更新費用	浄水施設費	25,488	996	△24,492
	配水管布設替工事費	491,290	776,189	284,899
		516,778	777,185	260,407
その他建設費用	配水施設設置工事費	16,648	12,852	△3,796
	配水管布設工事費	73,250	24,376	△48,874
	消火栓施設費	10,500	5,798	△4,702
	固定資産購入費	1,131	865	△266
		101,529	43,891	△57,638
計	618,307	821,076	202,769	

# 投資計画と財政収支計画の達成状況 ②財政収支計画

## 給水人口と年間有収水量の見込み

給水人口、年間有収水量とも計画値より若干の増となりました。今後は減少傾向が続くと考えられますので、注視してまいります。

区 分	平成29年度		
	計 画	実 績	計画値との差
給水人口(人)	98,088	98,714	626
年間有収水量(千m <sup>3</sup> )	11,950	12,090	140

## 収益的収支

収入においては、料金収入が計画値を上回ったことが寄与し、全体としては計画値を若干上回りました。

支出においては、主に経費節減等により物件費等の低減を図った結果、全体として計画値を下回りました。

以上の結果、純利益は計画値を上回り、計画を達成いたしました。

(千円)

区 分	平成29年度			
	計 画	実 績	計画値との差	
収 入	1 営業収益	1,845,204	1,860,021	14,817
	(1) 料金収入	1,825,151	1,840,057	14,906
	(2) その他	20,053	19,964	△89
	2 営業外収益	86,286	87,129	843
	(1) 他会計繰入金	2,101	1,816	△285
	(2) 長期前受金戻入	49,982	47,881	△2,101
	(3) 水道加入金・その他	34,023	37,432	△3,409
	3 特別利益	0	0	0
	計 (A)	1,931,490	1,947,150	15,660
	支 出	1 営業費用	1,880,932	1,849,376
(1) 人件費		192,818	188,354	△4,464
(2) 物件費		1,147,847	1,129,788	△18,059
(うち受水費)		854,806	854,806	0
(3) 減価償却費ほか		540,267	531,234	△9,033
2 営業外費用		47,507	43,354	△4,153
(1) 支払利息		46,577	41,850	△4,727
(2) その他		930	1,504	574
3 特別損失		92	129	37
計 (B)		1,928,531	1,892,859	△35,672
損益 (A) - (B)	2,959	54,291	51,332	
利益剰余金残高	1,089,275	1,155,999	66,724	

## 資本的収支

(千円)

資本的収支については、建設改良費を199,258千円、工事負担金を81,694千円それぞれ翌年度に繰り越しました。また、起債対象工事が減少したこと、昨年度からの布設替工事繰越が多であったこと、企業債繰上償還が発生したこと等から、全体の差引不足額は計画値を上回りました。

内部留保資金残高は、平成28年度末時点の1,544,233千円から86,335千円減少しました。

区 分		平成29年度		
		計 画	実 績	計画値との差
収	1 企業債等	447,000	255,400	△191,600
	2 出資金・補助金	0	0	0
	3 工事負担金・その他	66,500	140,927	74,427
入 計 (A)		513,500	396,327	△117,173
支	1 建設改良費	693,826	872,675	178,849
	2 企業債償還金	180,690	197,889	17,199
	3 災害復旧債償還金	2,492	2,492	0
出 計 (B)		877,008	1,073,056	196,048
差引不足額 (A)－(B)		△363,508	△676,729	△313,221
内部留保資金残高		1,289,366	1,457,898	168,532

## 平成29年度における水道事業ビジョンの総括

主要事業計画に掲げた事業及び数値目標については、概ね計画どおりに実施及び達成することができました。

経営状況については、冬季の寒波による水道管破裂及び漏水多発の影響もあり、有収率が計画値を下回ったものの、概ね良好な事業運営ができました。

給水収益については、給水人口の減少に伴い低減傾向にあります。このような状況においても、水道事業はライフラインであり安定した給水を確保していく使命があります。

そのために、水道事業ビジョンで設定した基本理念及び基本方針に基づき、定員適正化等による徹底したコストの削減、漏水防止対策による有収率の向上、老朽配水管等の計画的な更新、施設の長寿命化等を推進してまいります。そして、中・長期的な視点に立ち、経営の効率化と健全な事業経営の持続を図るとともに、安全で安心な水道水の供給に努めてまいります。